

## 調査結果報告書

令和6年11月5日

芦屋市長 高島 嶽輔 殿

菅原正明公認会計士・税理士事務所

業務責任者 菅原正明  
公認会計士

芦屋市（以下、「市」という。）からの依頼に基づき、弊所は令和5年度に株式会社オーエンス（以下、「オーエンス」という。）が行った芦屋市立あしや温泉（以下、「あしや温泉」という。）の指定管理業務に関する手続を実施した。

### 1 実施した手続の範囲

弊所の実施した次の手続は、本報告書に添付されているあしや温泉に関する令和5年度の「管理業務の実施に係る収支状況（以下、「収支状況」という。）」を対象とし、市により令和6年11月13日に開催される外部評価委員会が、指定管理者及び施設所管課におけるあしや温泉の管理運営を評価するに際し利用するためにのみ実施したものである。

### 2 実施手続

弊所は、業務委託仕様書に基づく以下の調査手続を実施した。

- (ア) あしや温泉の令和5年度の収支計算書に記載された各勘定科目金額について、オーエンスの令和5年度の残高試算表と突合する。合致しない場合には、差異の金額を手続の実施結果の記述において明示する。
- (イ) あしや温泉の令和5年度の収支計算書に記載された各勘定科目金額が、オーエンスの指定管理業務以外の業務と明瞭に区別されているか否かをオーエンスへの質問により確かめる。質問により得た回答は実施結果の記述において明示する。
- (ウ) あしや温泉の令和5年度の収支計算書に記載された各勘定科目金額について、オーエンスの総勘定元帳と突合する。合致しない場合には、差異の金額を手続の実施結果の記述において明示する。
- (エ) あしや温泉の令和5年度の収支計算書に記載された各勘定科目金額のうち市と合意した勘定科目について、質的または金額的重要性を考慮のうえ取引を抽出し、オーエンスから提示を受けた関連証憑との突合を行い、日付、金額、相手先及び内容の一致を確かめる。合致しない場合には、差異の内容を手続の実施結果の記述において明示する。
- (オ) オーエンスの管理する資産台帳から市と合意した物品等を抽出し、現物確認を実施する。合致しない場合には、差異の内容を手続の実施結果の記述において明示する。

### 3 実施結果

まず実施手続(ア)から(エ)に示した収支計算書は、あしや温泉では収支状況としてオーエンスから市へ連絡されている。したがって以降では収支状況に読み替える。

実施手続(ア)から(オ)に示した手続を実施した結果は、次のとおりである。

(ア) 実施手続(ア)の事項について、オーエンスが準拠する会計基準で規定される勘定科目体系と、収支状況の報告において市がオーエンスに求める勘定科目体系が異なる等の理由により、オーエンスでは別途毎月の収支実績を市に対する収支状況の様式（詳細な勘定科目）と整合するように集計した令和5年度の「あしや温泉指定管理業務収支実績表（以下、「実績表」という。）」を作成し、当該資料に基づき収支状況を作成しているとのことである。

そこで、オーエンスの会計システムから出力された残高試算表と収支状況との突合の代替として、令和5年度の実績表と収支状況との突合を実施した。その結果、前年度の令和4年度分の未払消費税納税分に係る租税公課を除き、両者が一致していることを確認した。

(イ) 実施手続(イ)の事項について、あしや温泉の令和5年度の収支状況に記載された各勘定科目金額が、オーエンスの令和5年度の合計残高試算表においてどのように算出されているかを質問により確かめた。確認の結果、まずオーエンスではあしや温泉を会計システム上で独立した会計単位に設定しているとのことであった。さらに実施結果(ア)に記載した通り、あしや温泉の収支状況については毎月実績表を作成しており、当該実績表は課内での決裁および社内本部での決裁等、然るべき社内での内部統制を経て確定させ、確定した実績表に基づいて作成された収支状況を市に連絡しているとの回答を得た。また、実績表では各勘定科目の項目別・取引先別内訳が示されているが、実績表を閲覧したところ、あしや温泉の運営に直接関連する費用のみが計上されており、関連外の費用の計上は見受けられなかった。

この結果、あしや温泉の令和5年度の収支状況に計上された金額は、オーエンスの当該施設の指定管理業務以外の業務と明瞭に区分されているとの心証を得た。

(ウ) 実施手続(ウ)の事項について、あしや温泉の令和5年度の収支状況のうち相対的に重要性が高いと思われる「人件費」、「修繕費」、「委託料」、「光熱水費」、「消耗品費」について、令和5年度の実績表と突合した。手続の結果、収支状況の残高と実績表の残高とが一致していることを確認した。

(エ) 実施手続(エ)の事項について、あしや温泉の令和5年度の実績表から無作為に抽出した取引に関し、オーエンスから提示を受けた関連証憑との突合を実施した。突合にあたっては主に該当取引に関する日付、金額、相手先及び内容について、実績表に記載された内容との整合性に留意した。突合の結果、取引の実態が適切に実績表に記載されたことを確認した。なお結果の詳細は、別添資料①を参照されたい。

(オ) 実施手続(オ)の事項について、指定管理者所有の「備品管理台帳」から市と合意した物品等を抽出し、現物確認を実施した。確認の結果、調査の過程で気づいた事項(2)で記載した物品を除き、いずれも実在し業務の用に供されていることを確認した。なお、結果の詳細は別添資料②を参照されたい。

#### 4 調査の過程で気付いた事項

- (1) 実施手続(エ)での人件費の検証において、社会保険料の計上額と賃金台帳とを突合したところ、社会保険料の中に雇用保険分が含まれていなかった。担当者に確認したところ、オーエンスでは雇用保険料は法定福利費として処理しておらず、オーエンス社内で経理課から毎月施設担当者に連絡される施設別人件費集計表においても、健康保険料と厚生年金保険のみを法定福利費として扱い、当該集計表に基づいて実績表が作成されているとの回答があった。支出全体に対する雇用保険料の金額的な影響は軽微であるものの、一般的な会計処理慣行では雇用保険料も法定福利費に含むことが多く、オーエンス社以外の事業者が指定管理者となっている施設とのコスト評価を実施した場合、人件費において適切な比較が出来ないことが憂慮される。  
今後は、雇用保険料負担分も加算のうえ実績表を作成する等の対応を検討されることが望ましい。
- (2) 実施手続(オ)の現物確認において、年度末直前に除却処分した水中ポンプ(資産番号238056)が台帳から除外されていなかったことが判明した。定期的に現物と台帳との整合性は確認しているとのことだったが、特に年度末時点においては資産の異動が台帳に適正に反映されているか注意されることが望ましい。
- (3) あしや温泉では令和4年度中に電気設備の改修工事が実施されたとのことであったが、当該改修工事は照明器具の取替に関する工事で修繕費に該当するため費用処理しているとのことであった。同時に、市の会計処理の基本方針として、固定資産台帳整備当初は附属設備についても建物に含んで一体計上したケースはあるものの、台帳整備以降の年度において附属設備等に対する資本的支出があった場合は、台帳登録されている建物を一部除却し資本的支出を資産計上する、との統一的な基準に沿った運用になっているとのことであった。  
令和4年度の改修工事については適切に処理されていると思われるが、施設の整備実態に沿って適正に固定資産台帳を更新することにより、現状に沿った施設老朽度合の評価や適切な施設マネジメントに資する情報が固定資産台帳から取得することが可能になる。あしや温泉施設のように市が所有管理する資産について、上記の基本方針に沿った会計処理が行われているか、いま一度確認されることが望ましい。

## 5 指定管理者の決算推移

オーエンスの貸借対照表及び活動計算書の3期推移（令和3年度～令和5年度）は以下のとおりである。

【貸借対照表】

(単位：百万円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
流動資産 (①)	3,951	4,094	4,427
うち現金預金	1,544	1,466	1,940
固定資産	1,102	1,185	1,198
資産合計 (②)	5,053	5,279	5,626
流動負債 (③)	2,405	2,493	2,728
固定負債	411	489	536
負債合計	2,817	2,981	3,264
純資産の部 (④)	2,236	2,298	2,362
流動比率(①÷③)	164%	164%	162%
純資産比率(④÷②)	44%	44%	42%

[補足]

- ・決算書には指定管理業務に伴って発生した資産負債を含んでいる。
- ・借入金はいずれの年度でもゼロである。
- ・流動負債の増加は、主に預り金、未払法人税等の増加である。

【損益計算書】

(単位：百万円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高 (①)	18,442	19,240	19,276
売上原価	16,475	17,444	17,461
売上総利益	1,967	1,796	1,815
販売費及び一般管理費	1,863	1,739	1,804
営業利益 (②)	104	57	10
営業外収益	45	58	58
営業外費用	0	4	9
経常利益	148	111	59
特別利益	4	8	25
特別損失	0	3	4
税引前当期純利益	153	116	79
法人税等合計	51	45	24
当期純利益 (③)	101	71	55
営業利益率 (②÷①)	0.5%	0.3%	0.1%
純利益率 (③÷①)	0.5%	0.4%	0.3%

### [補足]

- ・決算書には指定管理業務に伴って発生した収益費用を含んでいる。
- ・販管費の増加により営業利益率が減少している。

## 6 実施手続の特質

上記手続は、財務諸表に対する監査意見又はレビューの結論の報告を目的とした一般に公正妥当と認められる監査の基準又はレビューの基準に準拠するものではない。したがって、弊所は、あしや温泉に関する令和5年度の収支状況についていかなる結論の報告も、また保証も提供しない。もし弊所が一般に公正妥当と認められる監査の基準若しくはレビューの基準に準拠して財務諸表の監査若しくはレビューを行うか、又は手続の範囲を更に拡大した場合、追加的に報告すべき事項が発見される可能性がある。

また、本手続に際して提供された会計帳簿その他経営管理資料等については、その個々の正確性、網羅性及び真正性についての検証手続は実施しておらず、これらの情報を正確かつ完全なものとして利用している。本調査において報告した事項をどのように判断するか、および、収集した情報に基づきどのような意思決定を行うかについては、市の責任においてなされるものである。

なお、本報告書は市により令和6年1月13日に開催される外部評価委員会が、指定管理者及び施設所管課におけるあしや温泉の管理運営を評価するに際し利用されるために作成されたものであり、他のいかなる目的にも使用してはならず、市以外への配付もしてはならない。

市と弊所又は業務責任者との間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。

以上

別添資料①

実績表（総勘定元帳）					関連証憑	
勘定科目	日付	金額(円)	相手先	内容	名称	結果
給与	2023年12月	1,406,100	職員	2024年1月 支払分	賃金台帳	一致
賞与	2023年12月	70,000	職員	2024年1月 支払分	賃金台帳	一致
給与社会保険	2023年12月	67,456	職員	2024年1月 支払分	賃金台帳	一致
賞与社会保険	2023年12月	10,542	職員	2024年1月 支払分	賃金台帳	一致
修繕費	2023年11月	286,000	株菱光 テクノス	受水槽、加圧 ポンプ等交換	請求書	一致
外注加工費 =委託料	2024年2月	265,579	株エス・アイ	アンケート 委託	請求書	一致
外注加工費 =委託料	2023年12月	544,500	株サニー	槽類清掃、 水質検査等	請求書	一致
光熱水費	2023年7月	62,274 54,132 260,462	関西電力㈱ 大阪ガス㈱	電気代(従電力 量B/低压) ガス代	請求書 (支払月)	一致
光熱水費	2023年7月	143,635 29,355 265,408	水道局 下水道局	上水道代 下水道代 汚水排水	請求書 (発生月) ※	一致
光熱水費	2023年12月	83,243 72,091 465,817	関西電力㈱ 大阪ガス㈱	電気代(従電力 量B/低压) ガス代	請求書 (支払月)	一致
光熱水費	2023年12月	254,439 51,895 638,447	水道局 下水道局	上水道代 下水道代 汚水排水	請求書 (発生月) ※	一致

※上下水道代は2ヶ月毎の検針のため、対象期間を各月の稼働日数で按分している

別添資料②

物品番号	物品品名	取得価額(円)	数量	確認結果
190925	長いす（背もたれ付）	29,715	1脚	実在した
281255 ～281257	長いす（背もたれ付）	33,000/台	各1脚	実在した
233576	寝台	41,040	1台	実在した
190165 ～190166	下駄箱	138,600/箱	各1箱	実在した
190167 ～190168	下駄箱	143,850/箱	各1箱	実在した
190171 ～190179	更衣ロッカー（男性）	49,560/台	各1台	実在した
190169 ～190170	傘立	227,850/台	各1台	実在した
281254	高圧洗浄機	104,500	1台	実在した
190297	掃除機	23,100	1台	実在した
281248	ウォータークーラー	163,512	1台	実在した
190242	その他の電気機器 (給湯スタンド)	460,950	1台	実在した
190243	その他の電気機器 (給湯スタンド)	460,950	1台	実在した (一時停止中)
191951	フラップ式料金精算機	2,625,000	1台	実在した
265694	入場券売機	1,562,000	1台	実在した
281355	入場券売機	528,000	1台	実在した
262346	水中ポンプ	1,060,400	1台	実在した
288952	水中ポンプ	1,269,400	1台	実在した
212504	その他の医療用器具 (AED小児用パッド)	23,625	1台	実在した